



The Japanese Society of Myocardial Protection

The 4th Scientific Meeting of Japanese Society Myocardial Protection

～第4回日本心筋保護研究会学術集会～

大会長：配野治 千葉メディカルセンター

テーマ「心臓を評価する」

心臓手術において心筋保護は大変重要な役割を果たしています。今回、多職種の視点から心筋の評価方法について考えていきたいと思えます。

この会は、医師と技士が相互にディスカッションできる非常に貴重な場であり、心筋保護という心臓手術における重要な機能を維持・管理することで患者の QOL に貢献できると信じておきます。今後も、心筋保護研究会を通じて Guideline の作成や安全な心筋保護技術を提供により、社会に貢献して行く所存です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

開催日：2023年9月23日(土曜日)

：9時50分～18時00分

場所：ペリエホール千葉 7F room A & B (千葉駅直結)

：<https://www.perie.co.jp/chiba/periehall/outline/index.html>

開催方法：ハイブリッド(現地+zoom)

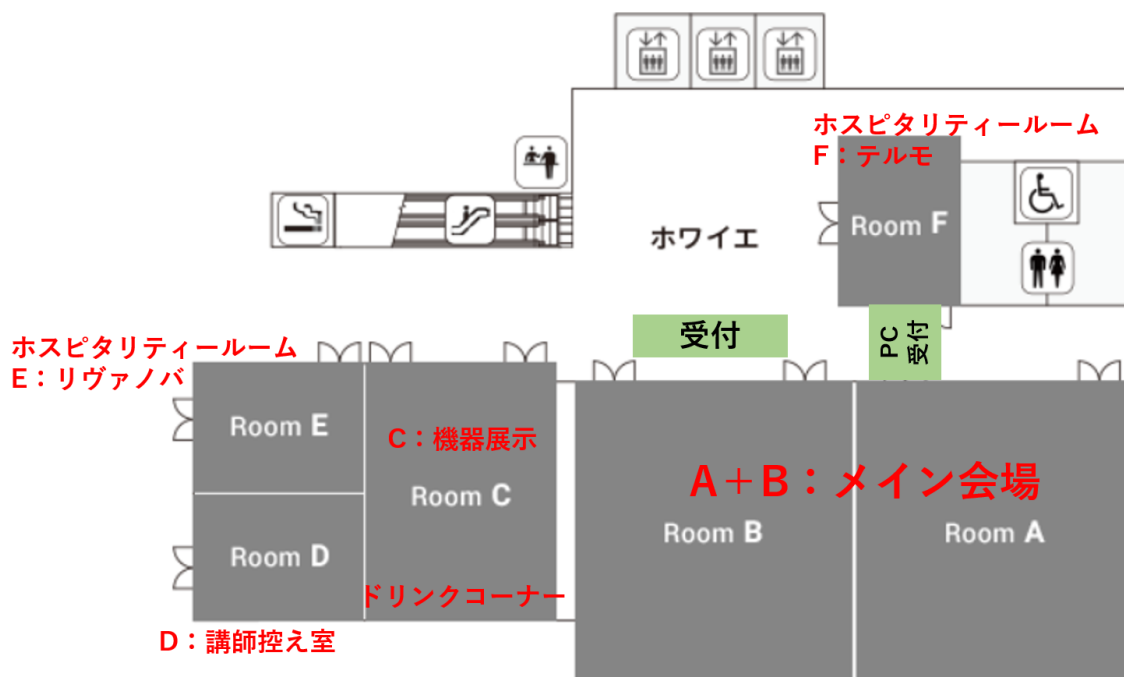
問い合わせ先：ykh972@gmail.com

ホームページ：<https://jsmp.jp/>

参加登録：<https://jsmp.jp/4th/site/Input>



会場案内(ペリエホール千葉 7F)



Room A+B:メイン会場

Room C:機器展示会場

Room E:LivaNova (ホスピタリティールーム)

Room F:テルモ (ホスピタリティールーム)

Room D:講師控え室

座長の先生方へ

- ・受付にて、座長および演者であることをお伝え下さい。
- ・座長におかれましては、時間内での進行をお願いします。

演者の先生方へ

- ・zoomによるハイブリッド方式のご講演となります。
- ・発表の1時間前にPC受付をお願いします。
- ・OSはWindow PCでの発表となります。
- ・Mac作成の先生は、Window形式にて保存したUSBをご持参下さい。
- ・ご自身のPCで行う場合には、事前にzoomへの入室準備を済ませた状態で待機して下さい。パネリストとして招待します。また、接続ケーブルはご自身で準備して下さい。HDMIのみのご対応となります。
- ・全ての口演は録画し後日アーカイブ配信いたします。



大会プログラム 「2023年9月23日(土) 9:50~18:00」

9:50 開会の辞

森田紀代造 (日本心筋保護研究会理事長)

10:00 特別講演 (発表 50 分/質疑応答 10 分) (合計 60 分)

座長：森田紀代造 (榊原サピアタワークリニック/循環器科)

「執刀医が考える心筋保護」(仮題)

高梨秀一郎 (川崎幸病院/心臓外科)

11:00 教育講演 (各発表 20 分/質疑応答 10 分) (合計 60 分)

座長：澤村成史 (帝京大学医学部附属病院/麻酔科)

I 「経食道心エコーで心筋保護を観る」

佐島威行 (帝京大学医学部附属病院/麻酔科学講座)

II 「心臓手術における心筋保護の治療標的」

假屋太郎 (東京大学医学部附属病院/麻酔科・痛みセンター)

12:00 休憩 10 分

12:10 共催セミナー (口演 40 分/質疑応答 10 分) (合計 50 分)

座長：配野治 (千葉メディカルセンター/臨床工学技士)

「心臓手術におけるコーディネート」

倉島直樹 (東京医科歯科大学病院/臨床工学技士)

13:00 休憩 10 分



主催：一般社団法人 日本心筋保護研究会

13:10 Current Topics Session (各発表 7 分/質疑応答 3 分) (合計 80 分)

座長：岡本浩嗣 (北里大学病院/麻酔科)

若松禎人 (順天堂医院/臨床工学技士)

I「アメリカ 3 施設での臨床心筋保護使用経験と近年の傾向」(発表 15 分/質疑応答 5 分)

木南寛造 (Lucile Packard Children`s Hospital Stanford/
Pediatric Cardiothoracic Surgery)

II「九州大学式心筋保護液の基礎理論」

篠原玄 (九州大学病院/心臓血管外科)

III「全弓部大動脈置換術における晶質液心筋保護法と血液心筋保護法の比較検討」

長谷川翔大 (神戸大学医学部附属病院/心臓血管外科)

IV「サーモグラフィを用いた心筋保護時の心筋表面温度の推移」

柿本将秀 (三重ハートセンター/臨床工学技士)

V「大動脈壁肥厚を伴う小児再開胸症例に自作カニューレで心筋保護を得た 1 症例」

紺野幸哉 (弘前大学医学部附属病院/臨床工学技士)

VI「MICS AVR における long interval dose 心筋保護法の有用性」

長嶋耕平 (虎ノ門病院/臨床工学技士)

VII「チームで取り組む心筋保護 臨床工学技士サイドで出来ることとは」

芦村浩一 (元熊本大学病院/臨床工学技士)

14:30 パネルディスカッション I (各発表 10 分 討論 30 分) (合計 60 分)

座長：横塚基 (三井記念病院/麻酔科)

「周術期の心臓評価・管理」

I「心臓手術の周術期における、経食道心エコーの重要性」

森芳映 (虎の門病院/麻酔科)

II「心筋保護の質を上げる術中 TEE 評価とサポート」

土井健司 (東京女子医科大学/麻酔科)

III「当院における術中心筋保護の実際」

菊池慶太 (東京ベイ浦安・市川医療センター/心臓血管外科)

パネルディスカッション

15:30 休憩 10 分



15:40 パネルディスカッションⅡ (各発表 10 分 討論 30 分) (合計 60 分)

座長：築部卓郎 (神戸赤十字病院/心臓血管外科)

特別発言：荻野均 (医学研究所北野病院/心臓血管外科)

「coronary malperfusion の際の心筋保護法・治療法」

I「急性 A 型解離における心筋保護法：冠動脈灌流の視点で」

山本浩史 (秋田大学/心臓血管外科)

II「冠動脈灌流障害を合併した急性 A 型解離の治療成績」

井上陽介 (国立循環器病研究センター/血管外科)

III「冠灌流異常に対する Early Reperfusion と Coronary Flow Recovery」

安田章沢 (横浜市立大学附属市民総合医療センター/心臓血管外科)

パネルディスカッション

16:40 特別企画 (各発表 12 分) (合計 60 分)

「心筋保護ガイドライン構想と合同研究班の現状」

座長：山本浩史

(秋田大学大学院医学系附属遠隔医療推進開発研究センター/特別教授)

KeyNote：心筋保護ガイドライン基本構想と合同研究班概要

森田紀代造 (東京慈恵会医科大学/合同研究班統括班長)

領域別ガイドライン作成の進捗と問題点

I「心筋保護の基礎理論と新たな戦略の理解」

山本浩史 (秋田大学大学院、合同研究班分野班長：日本心臓血管外科代表)

II「各種心筋保護液・方式の適正使用指針と選択基準および小児心筋保護法」

森田紀代造 (東京慈恵会医科大学/合同研究班統括班長)

III「各種術式・病態に伴う心筋保護法の特殊性と指針」

齋木佳克 (東北大学心臓血管外科、合同研究班分野班長/日本胸部外科学会代表)

IV「心筋保護の術中監視と術後心筋保護不全の診断治療の指針」

原哲也 (長崎大学麻酔科、合同研究班分野班長/日本心臓血管麻酔学会代表)

V「心筋保護法の適正運用のための基準と機器管理の指針」

東條圭一 (北里大学病院臨床工学部、合同研究班分野班長/日本体外循環医学会代表)

パネルディスカッション

17:40 閉会の辞

大会長：配野治 千葉メディカルセンター

主催：一般社団法人 日本心筋保護研究会

